



.....みなとオアシス千葉みなと登録記念.....

ちばみなとのいま・そしてあした

2018年8月21日(火) ~ 9月9日(日)

第1会場

千葉ポートタワー1Fギャラリー

第1部 千葉の都市デザインと千葉みなと

9:00 ~ 21:00 (会期中無休) 入場無料

第2会場

千葉県立美術館第7展示室

第2部 千葉港の歴史とみなとオアシス千葉みなと

9:00 ~ 16:30 (月曜日休館) 入場無料

千葉市みなと活性化協議会



千葉みなと旅客船さん橋では遊覧船の定期運航を実施!

裏面

関連ワークショップ
ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと
2018年8月25日(土) 13:00 ~ 15:30
千葉県立美術館第7展示室
定員30名 参加費200円

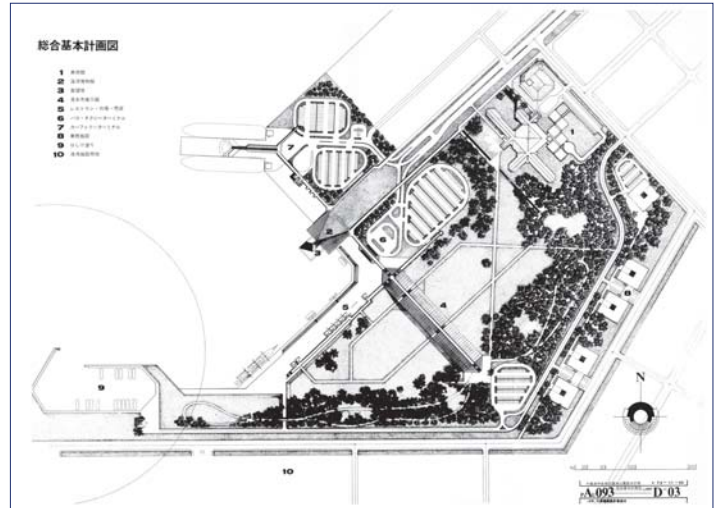
裏面

第1部 千葉の都市デザインと千葉みなと（第1会場）

戦後日本を代表する建築家の一人である大高正人は、前川建築設計事務所時代に関わった「上野計画」の設計思想を、独立後の1960年代、千葉大学教育学部跡地に「文化の森」（千葉県文化会館、千葉県立中央図書館とその周辺）として実現します。続く1970年代には千葉県立美術館と「千葉港中央地区臨海公園計画」（現「千葉ポートパーク」）に着手します。

大高は、この公園を千葉公園、千葉文化の森とともに千葉都心を巡って三角形を形成する3つの都市公園の一つに位置づけ、発展する臨海部の観光・文化施設として、フェリーターミナル、見本市展示場、ポートタワー、海洋博物館、美術館といった機能が一体となった都市デザインを構想しました。これらは実現しなかった部分も多くありますが、間接的にその後の千葉の都市デザインに少なからず影響を与え、また大高自らが後に関わった「横浜都心臨海部総合整備基本構想」（現「みなとみらい21」）に生かされた部分もあります。

ここでは、臨海公園計画を千葉の都市デザインの中に位置づけて展示します。千葉ポートパークの現状などと比較しながらご覧ください。



大高建築設計事務所「千葉港中央地区臨海公園 総合基本計画図」1973

第2部 千葉港の歴史とみなとオアシス千葉みなと（第2会場）

2018年3月24日、ケースハーバー（代表施設）、千葉みなと1号浮桟橋、千葉みなと港湾緑地、千葉みなと公園緑地、千葉ポートパーク、千葉ポートタワー、千葉中央埠頭1岸壁、千葉中央埠頭11号荷さばき地、蘇我寒川緑地の各施設が、「みなとオアシス千葉みなと」として登録されました。

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、2003年に制度化されたもので、国土交通省によってこれまでに全国で117か所（7月16日現在）が登録されています。「みなとオアシス千葉みなと」は、上記各施設の管理者と千葉市が構成団体となる「千葉市みなと活性化協議会」によって運営され、さまざまな事業によって活性化を図っていきます。

ここでは、千葉港の歴史を示す写真や今後の整備計画、みなとオアシス千葉みなとの概要などを紹介します。また、東京湾で活躍する清掃兼油回収船「べいくりん」についても映像や模型を交えて紹介します。



「みなとオアシス千葉みなと」登録エリア（黄線内）

関連ワークショップ ぼくたちがつくるみらいの千葉みなと

★美術館のある千葉みなとエリアのみらいは、どう変化するだろう？ダンボールやビルダーカードを使って、いっしょにみらいのかたちをつくってみよう！

日時 8月25日（土）
13:00～15:30

定員 小学生30名
参加費 200円



申込み 往復はがきに①ワークショップ名、②名前、③住所、④電話番号、⑤学校名、⑥学年をご記入の上、締切り日必着でお送りください。応募多数の場合は抽選となります。

申込先 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 千葉県立美術館ワークショップ係
締切り 8月15日（水） お問合せ ☎ 043-242-8311

★参加者全員に当日限定のカンパッ2種をもちろんプレゼント！
みなと活性化協議会からもおたのしみプレゼントがあるよ！

★クルーズ情報★

毎日 11:30発、13:30発《港めぐりコース》運航！（40分）
土・日・祝日 14:30発《幕張メッセ沖合遊覧コース》運航！（50分）
第2・4土曜日《工場夜景クルーズ》運航！（日没後出航：70分）
それぞれ乗船料が異なります。詳細はお問い合わせください。
千葉ポートサービス ☎ 043-205-4333 FAX 043-205-4332

★レーザービルボード★

レーザー光線による光と音のショー《レーザービルボード》を《工場夜景クルーズ》に併せて実施！
＜千葉共同サイロ株式会社＞

★清掃兼油回収船「べいくりん」乗船体験★

8月25日（土）には、清掃兼油回収船「べいくりん」の乗船体験を開催！
①10:10 ②11:10 ③14:10 の3回出港（時間約40分、各回の定員は15名程度）
ご希望の方は、当日ケースハーバー内の特設受付で住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記載し、保険料200円をお支払いの上、浮桟橋より乗船してください。
※荒天の場合、中止となることがあります。
国土交通省千葉港湾事務所 ☎ 043-243-9173 FAX 043-204-4559

★J A Z Zクルーズ★

9月1日（土）には、千葉市文化振興財団による《J A Z Zクルーズ》を実施！
詳細は下記までお問い合わせください。
公益財団法人 千葉市文化振興財団 ☎ 043-221-2411 FAX 043-224-8231

主催：千葉市みなと活性化協議会・千葉ポートタワー（第1会場）・千葉県立美術館（企画・第2会場）

展示協力：国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所・千葉県県土整備部港湾課/同千葉港湾事務所・国立近代建築資料館・千葉市立郷土博物館・千葉県立関宿城博物館・千葉県立房総のむら・東 健一
お問合せ：千葉県立美術館 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 ☎ 043-242-8311 <http://www2.chiba-muse.or.jp> 撮影・デザイン：須田あり・渡辺修一

- 千葉県市みなと活性化協議会
- 千葉県県土整備部千葉港湾事務所
 - 株式会社ケースネットワーク
 - 千葉市経済農政局経済部観光MICE企画課
 - 株式会社塚原緑地研究所
 - 緑化建設株式会社
 - 千葉ポートサービス株式会社
 - 日東商船株式会社
 - 株式会社ケーエムシーコーポレーション
 - 株式会社ノバレーゼ アマンダンセイル
 - 株式会社セガホールディングス
 - 千葉市都市局海辺活性化推進課

- （オブザーバー）
- 国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所
- 千葉県県土整備部港湾課
- 千葉県立美術館
- 公益財団法人千葉市観光協会
- 千葉港振興協会
- 日本サイロ株式会社
- 千葉共同サイロ株式会社
- （オブザーバー（サポートメディア））
- 千葉テレビ放送株式会社
- 株式会社千葉日報社
- 株式会社ベイエフエム
- 株式会社オニオン新聞社



- 第1会場（第1部）
千葉ポートタワー1Fギャラリー
J R京葉線・千葉モノレール千葉みなと
駅から徒歩約12分
9:00～21:00 会期中無休 入場無料
- 第2会場（第2部・ワークショップ）
千葉県立美術館第7展示室
J R京葉線・千葉モノレール千葉みなと
駅から徒歩約10分
9:00～16:30 月曜日休館 入場無料